

# 農業データの利活用の推進について

2025年9月

農林水産省 技術政策室

# 目次

1. 食料・農業・農村基本計画における関連項目	
2. 農業データ連携基盤（WAGRI）	
農業データ連携基盤（WAGRI）の概要	7
WAGRIの主なAPI	9
民間企業による活用事例	20
3. オープンAPI	
農機間のデータ連携を可能にするオープンAPIの整備	29
オープンAPIの活用イメージ	31
4. スマートフードチェーンプラットフォーム（ukabis）	
スマートフードチェーンについて	35
想定されるスマートフードチェーンプラットフォームの活用方法	36
スマートフードチェーンプラットフォームを活用した実証の成果等	38
5. その他	
関連予算等	47

# **1. 食料・農業・農村基本計画における関連項目**

# 食料・農業・農村基本計画

## 2025年4月11日 閣議決定（抜粋）

### 第4 食料、農業及び農村に関し総合的かつ計画的に講ずべき施策

#### 2 食料自給力の確保

##### (4) 生産性向上に向けた取組

##### ② スマート農業技術等の開発・普及促進

##### Ⅰ 農業者のデータ活用の促進

農業の生産性向上に向けては、衛星や各種センサ等で得られたデータの活用が不可欠であり、データ連携・共有・提供機能を有する農業データ連携基盤（WAGRI）を構築し、これを活用したサービスの提供もされているが、データを活用した農業の普及がまだ不十分な状況にある。

このため、WAGRIやAIの活用等を通じて農業者のデータ活用を促進するとともに、農業関連データの共有や統一化を含めたデータ活用環境を整備する。

### 第5 食料、農業及び農村に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

#### 1 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

##### (1) 食料システムのあらゆる場面での DX の推進

デジタル技術の高度化が進む中、デジタル化に意欲を持つ農業者・食品事業者等を中心に、データ活用の取組が展開されているものの、食料システム全体で見ると、デジタル技術を活用した社会的ニーズの高い価値を創造・提供する取組（DX）の一層の充実が必要である。

このため、食料システム全体の生産性の向上に向け、生産現場におけるスマート農業技術の活用や食品産業における生産・流通の効率化に加え、生産から消費までの情報伝達や農林水産行政におけるデジタル技術の活用など、食料システムのあらゆる場面での DX を推進する。

また、スマート農業技術の実装により DX をリードする、デジタル技術やデータ活用に対する高いリテラシーを持つデジタル人材を育成する。

農業者のデータ活用による生産性向上等を実現するため、農業関連スタートアップ企業の創出や、それらによる農業に関するサービスの拡大・強化を図るとともに、WAGRI や AI の一層の活用を推進する。また、農業の生産性向上、GXの推進、農業行政の効率化等に資する衛星データ活用技術の開発・普及及び衛星データの政府調達を推進する。

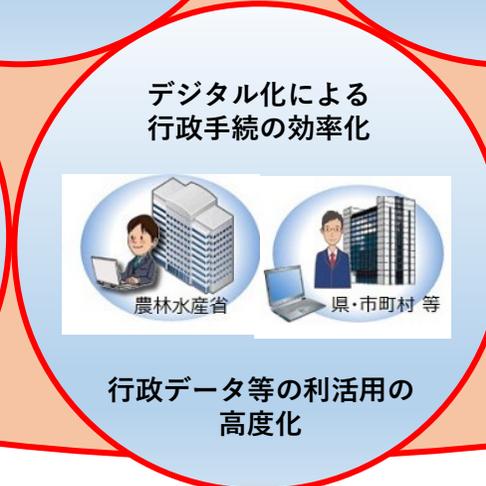
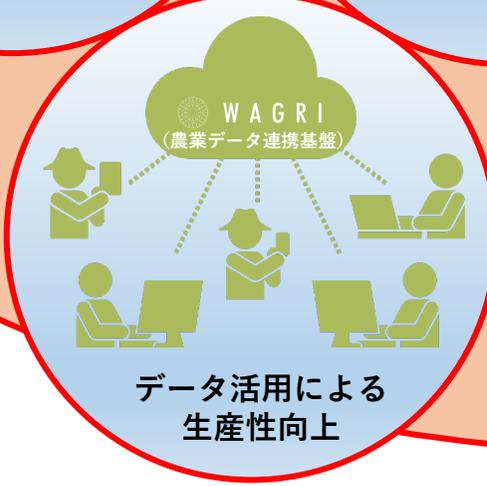
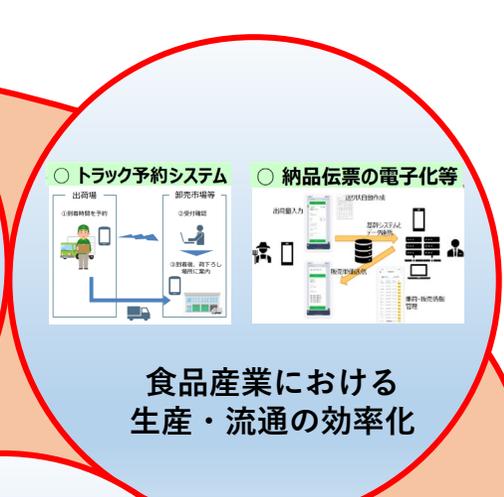
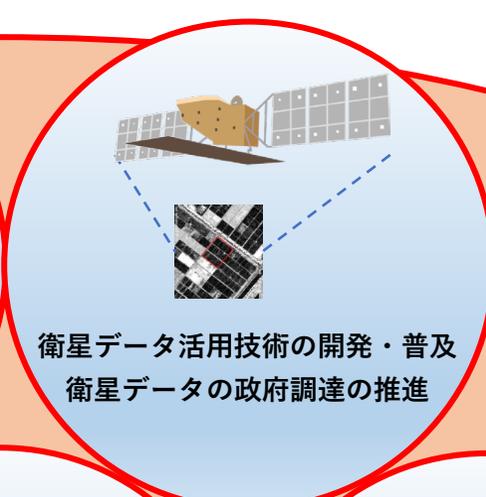
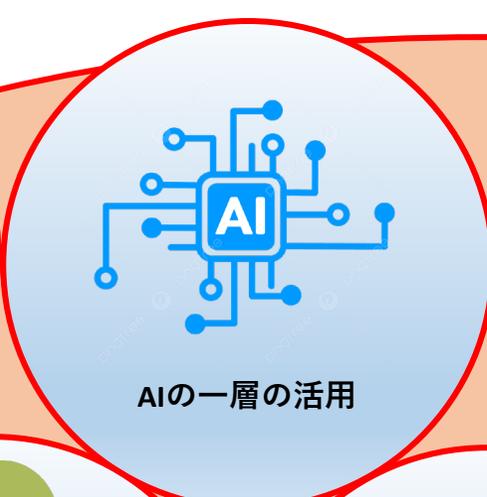
これらの取組を推進するために、スマート農業技術の開発及び普及の好循環の形成を推進する観点から、農業者や研究者等の参画の下、各種情報の共有が可能なプラットフォームを構築する。

# 食料システムのDXの推進

「新たな食料・農業・農村基本計画に関する地方説明会資料  
【資料2】改正基本法に基づく初の食料・農業・農村基本計画（参考資料）」より抜粋

- 農業の生産性向上に向けては、衛星や各種センサ等で得られたデータの活用が不可欠であり、データ連携・共有・提供機能を有する農業データ連携基盤（WAGRI）やAIの活用等を通じて農業者のデータ活用を促進するとともに、農業関連データの共有や統一化を含めたデータ活用環境を整備。
- 食料システム全体の生産性の向上に向け、生産現場におけるスマート農業技術の活用や食品産業における生産・流通の効率化に加え、生産から消費までの情報伝達や農林水産行政におけるデジタル技術の活用など、食料システムのあらゆる場面でのDXを推進。

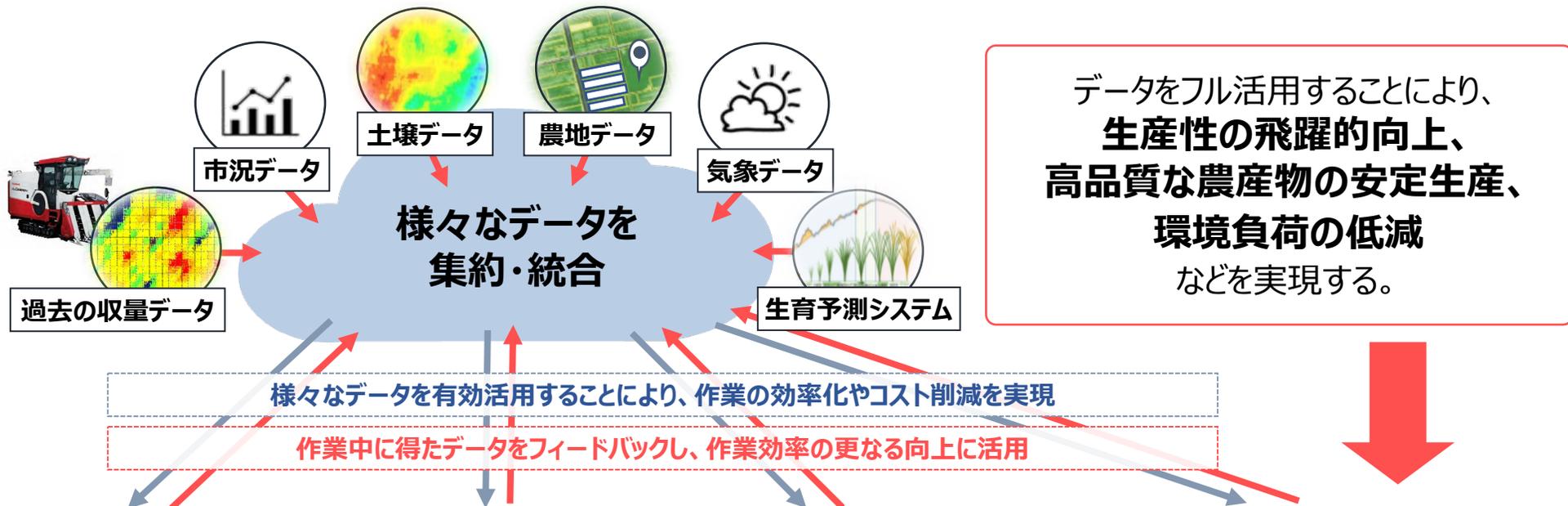
## 食料システムのあらゆる場面でのDXの推進



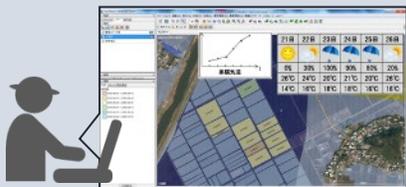
## **2. 農業データ連携基盤 (WAGRI)**

# データを活用した農業の将来像

農業現場における生産性向上と持続性確保を両立するためには、データをフル活用できる環境を整備することが不可欠。



- ・ 営農形態に応じた最適な作業計画  
⇒ 作業効率や収益を最大化



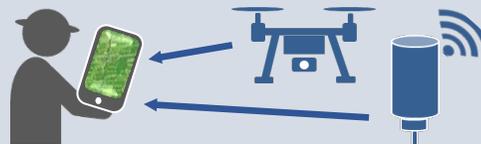
作業計画の策定

- ・ 農作業の自動化  
⇒ 作業効率を大幅に向上



耕起・播種・移植

- ・ スマホでの生育状況確認
- ・ ピンポイント農薬散布、可変施肥  
⇒ 作業時間や労力、資材コストを大幅に削減  
⇒ 環境負荷の低減



生育管理

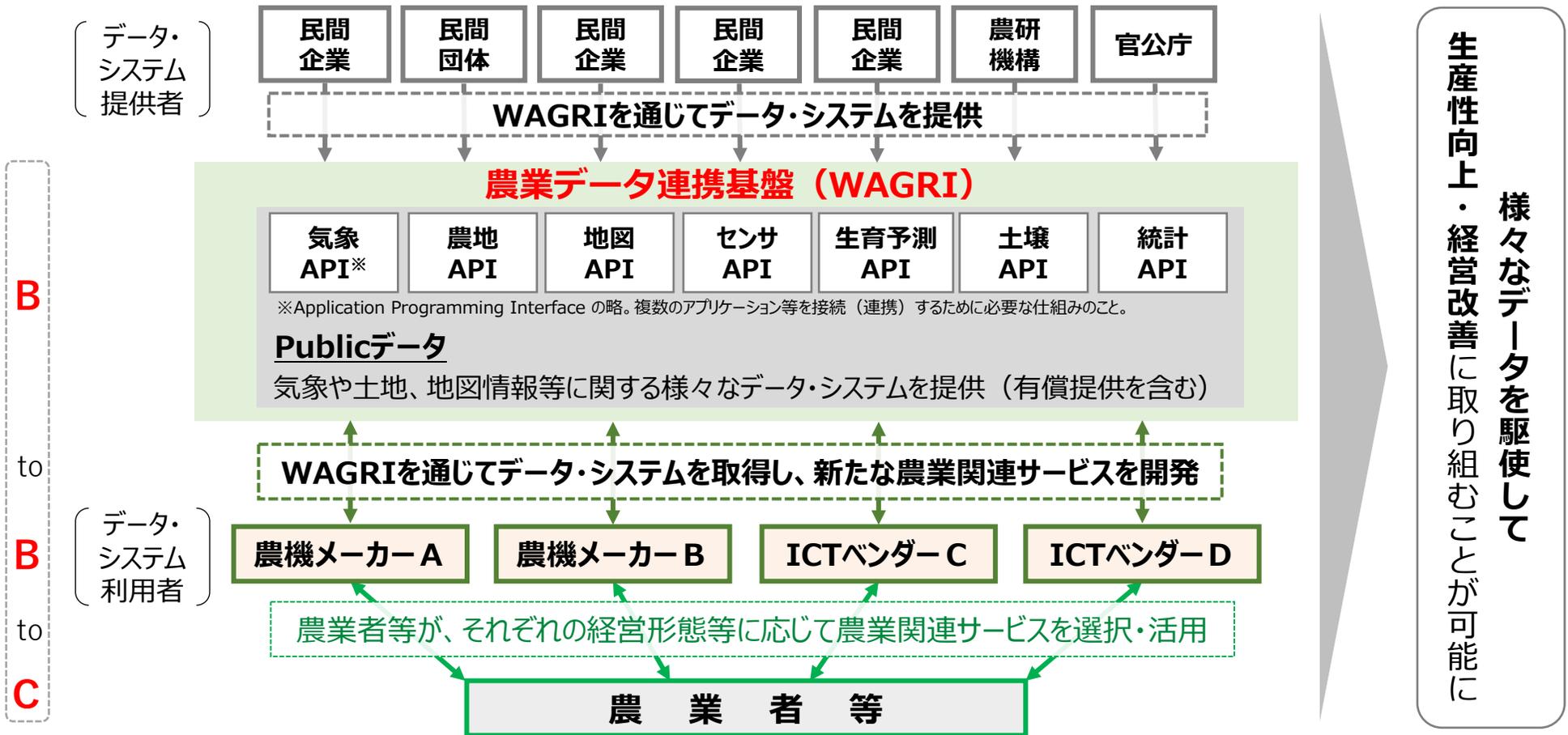
- ・ 適期収穫
- ・ 高品質な農産物の安定出荷  
⇒ 収益を大幅に向上



収穫

# 農業データ連携基盤（WAGRI）の概要と構造

- 農業ICTの抱える課題を解決し、農業の担い手がデータを使って生産性向上や経営改善に挑戦できる環境を生み出すため、**データ連携・共有・提供機能を有する協調領域としてデータプラットフォーム（農業データ連携基盤：WAGRI）を構築し、2019年4月より農研機構を運営主体として運用を開始。**
- 2025年8月末現在、**118の民間事業者等が利用**。WAGRIを活用した**農業者向けサービスを民間事業者が開発、提供（B to B to Cの仕組み）**。
- **2026年4月**から、大容量データ取得の高速化、運用効率の向上、利用画面の操作性向上など、より利便性が高いサービス提供を可能とする**新システムに完全移行（予定）**。



# 農業データ連携基盤（WAGRI）の運営・活用状況

2019

26会員  
59API

WAGRI-API

## 基礎データの提供:

肥料情報、農薬情報、農地区画情報（筆ポリゴン）、気象データなど

## 農林水産省の統計データ、農研機構の研究成果の提供:

青果物市況情報、食肉市況情報、生育収量予測・病虫害画像判定プログラムなど

## 民間事業者のサービスの提供:

市場価格予測・需要予測モデル、病虫害発生予察情報、AI病虫害雑草診断など

など

2025

118会員  
223API

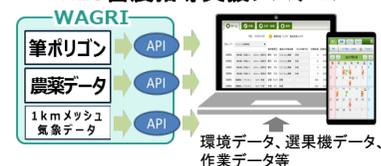
(会員数は2025年8月末現在。API数は9月現在。)

(年)

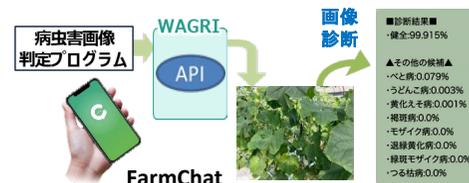
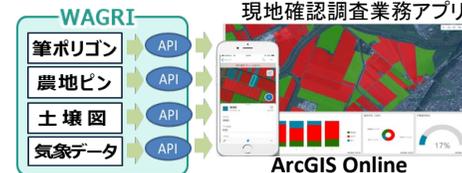
**生育収量予測や施設環境制御に関するAIモデル等、今後も充実したAPIを実装予定**

## 民間サービス

### NEC営農指導支援システム



### 現地確認調査業務アプリ



WAGRI-APIを活用して、民間事業者等が様々なシステムを開発・提供